



# 嬉 望

兵教大 学校経営コース 大学院生編集部

## ●教職大学院の特徴② 理論と実践融合～多彩な教員と授業～



前号で教職大学院の特徴として、理論と実践の融合、修了に要する単位の多さについて述べました。

そのような教職大学院における私たちの学びを支えてくださるのが、高度な理論的研究を行っている“研究者教員”と、現場での豊富な経験を持つ“実務家教員”です。教職大学院では専任教員の4割以上を教育行政経験者や学校管理職経験者などの実務経験者が占めることとされています。(H18年中教審答申→専門教職大学院

設置基準第5条3項・H19年文部科学省告示) この教員の構成が、私たちのこれまでの実践・経験を理論的に整理したり、これから経験すると思われる事象や教育の方向性について理論と実践の両面から研究したりする時の力強い味方となっているのです。つまり先生方の深い見識や多彩で先進的な実践経験によって、私たちの学びが理論に裏打ちされた実践的なものとなるようにサポートされているのです。

(お詫びと訂正：前号“教職大学院の特徴①”において「学校教育法99条の2」は「学校教育法99条2項」の誤りでした。また「修了」とすべきところ一部「終了」となっていました。お詫びして訂正いたします。)

## ●兵庫教育大学教職大学院の特徴② グループ指導～少人数による実践的研究～

本学の学校経営コースでは、「全体で行う課題研究」以外にも、教員が学生担当を3人程度受け持ち指導する「少人数によるグループ指導」があります。あるグループでは、東京都立日比谷高校、大阪府寝屋川市立第四中学校の学校経営のKFS (Key Factor for Success) を研究しています。写真は、加治佐学長が、グループ指導を視察された時のものです。また別のグループでは、表にあるように、マーケティング理論をベースに現任校長を分析し、生徒募集の案を検討しています。



回	テーマ	内容
第1回	顧客分析	わが校の顧客である入学した生徒の属性とニーズを分析する。
第2回	貢献分析	わが校が生徒等に貢献できるシーズは何かを学校の特色等から分析する。
第3回	訴求点分析	生徒のニーズとわが校のシーズを掛け合わせ、わが校の効用(ウリ)を検討する。
第4回	競合分析	わが校の競合校との比較をし、わが校のセールスポイントを検討する。
第5回	まとめ	どのような生徒にどのようにアピールするかをまとめる。まとめを、学校(校長や運営委員会)に提案する。

●シリーズ 兵庫教育大学教職大学院の授業 ②

～学校危機管理の理論と事例演習～（必修専門科目）

兵庫教育大学教職大学院で行われている授業紹介の2回目は、「学校危機管理の理論と事例演習」です。この科目は必修専門科目として、私たち学校経営コースの院生が1年次の前期に受講する科目です。学校危機管理の定義や内容、進め方、法的知識、法的な考え方などの理論的なことを学ぶと同時に、数多くの事例、判例を通して、学校における危機管理能力を高めます。なお、1年次の後期には「教育法規の理論と実務演習」など、この授業を基盤としてさらに深い内容を扱う科目があります。下表は昨年度この授業で扱った事例等を筆者の授業記録をもとにまとめたものです。もちろん、単に

分類	事例
食中毒	飯盒炊爨における食中毒
突然の体調異変	給食によるアレルギー
生徒の危機的問題	薬物乱用発生時の対応
生徒の危機的問題	新型インフルエンザ感染への対応
情報管理における危機対応	インターネットへの児童生徒の個人情報漏えい
情報管理における危機対応	インターネットへの成績データの漏えい
防災・防犯・学校事故への対応	文科省小学校教員研修用DVD
防災・防犯・学校事故への対応	仙台市教育委員会学校危機管理資料
地方自治体の学校危機管理マニュアルの比較分析	院生の所属する地方自治体などの危機管理マニュアルの分析
マスコミ対応	ゲスト講師(新聞記者)による講話
事故への対応	JR脱線事故に関して学校の対応事例 ゲスト講師による講話
教職員の不祥事に対する対応	猥褻行為・殺人行為
教職員の不祥事に対する対応	体罰・公金の不正処理

事例を特殊解として扱うのではなく、危機管理を適切に行うための一般解へのアプローチや理論を学んだ後の実例として学びました。教育に携わる者として、多くの子どもの命・安全を守り、人生に関わる仕事をしていると感じさせられることが多々ありました。また講話などに関しては、当事者の生の声を聴くことでより深く考えさせられました。学校管理職・教育行政職にとってとても大切な内容で、身の引き締まる思いで講義を受け、演習を行いました。

●インターンシップの計画、立案中です。

2年次生が行うインターンシップの日程が多くの実習先で決まりました。実習を受け入れていただく各教育委員会、各学校の皆様、心より感謝申し上げます。受け入れ先と協議させていただいた結果、5月20日現在次のような予定になっております。

8月15日～10月7日（2校・委員会）8月22日～10月14日（2校・委員会）8月29日～10月21日（7校・委員会）9月26日～11月18日（1校・委員会）未定（1校・委員会）

インターンシップ中の計画の詳細について、現在院生が原案を作成中です。限られた期間で良い学びができるように計画中です。また、受け入れ先管理職の先生方との調整も必要かと思えます。さらに、計画自体が学校・教育委員会の業務との兼ね合いでフレキシブルに変更可能なものでなければならないと思います。実習受け入れ校の皆様におかれましては、今しばらくお待ちください。

●大学院説明会が行われます

下記の日程で大学院説明会が行われます。詳細については兵庫教育大学のホームページでご確認ください。

(<http://www.hyogo-u.ac.jp/>)

なお、7月9日（土）神戸市総合教育センター会場 9月17日（土）神戸国際会館での説明会では、教職大学院の体験談を紹介します。

日程	時間	会場
平成23年5月28日（土）	13:30～15:10	神戸国際会館
平成23年6月11日（土）	13:30～15:00	福岡朝日ビル
平成23年6月18日（土）	13:30～15:10	神戸国際会館
平成23年7月9日（土）	13:30～15:10	神戸市総合教育センター
平成23年9月3日（土）	13:30～15:10	本学(加東キャンパス)
平成23年9月10日（土）	13:30～15:10	梅田スカイビル タワーウエスト
	13:30～15:00	AP品川 京急第2ビル
平成23年9月17日（土）	13:30～15:10	神戸国際会館
平成23年10月1日（土）	13:30～15:10	神戸国際会館